

平成27年8月の鉱工業活動 図表集

平成27年10月15日
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成27年8月 鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	96.3	95.5	114.0	119.2
前月比	▲ 1.2%	▲ 0.7%	0.3%	6.2%
指数水準	H25.6 95.0以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H26.8 94.9以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H27.6 114.6以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H23.5 120.3以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.7～当月)	2か月連続▲ (H27.7～当月)	2か月ぶり+ (H27.6以来)	3か月ぶり+ (H27.5以来)
前月比幅	H27.5 ▲2.1%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H27.5 ▲1.9%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H27.6 1.5%以来 I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12,H23.4 2.3%	H26.8 7.0%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 0.4%	0.6%	2.1%	1.1%
前年同月比の動き	3か月ぶり▲ (H27.5以来)	2か月ぶり+ (H27.6以来)	16か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で16ヶ月以上連続+ 22か月連続+ (H23.5～H25.2)	16か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で16ヶ月以上連続+ 20か月連続+ (H20.3～H21.10)
前年同月比幅	H27.5 ▲3.9%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H27.6 1.8%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H27.7 2.7%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.7 1.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) ▲はマイナス

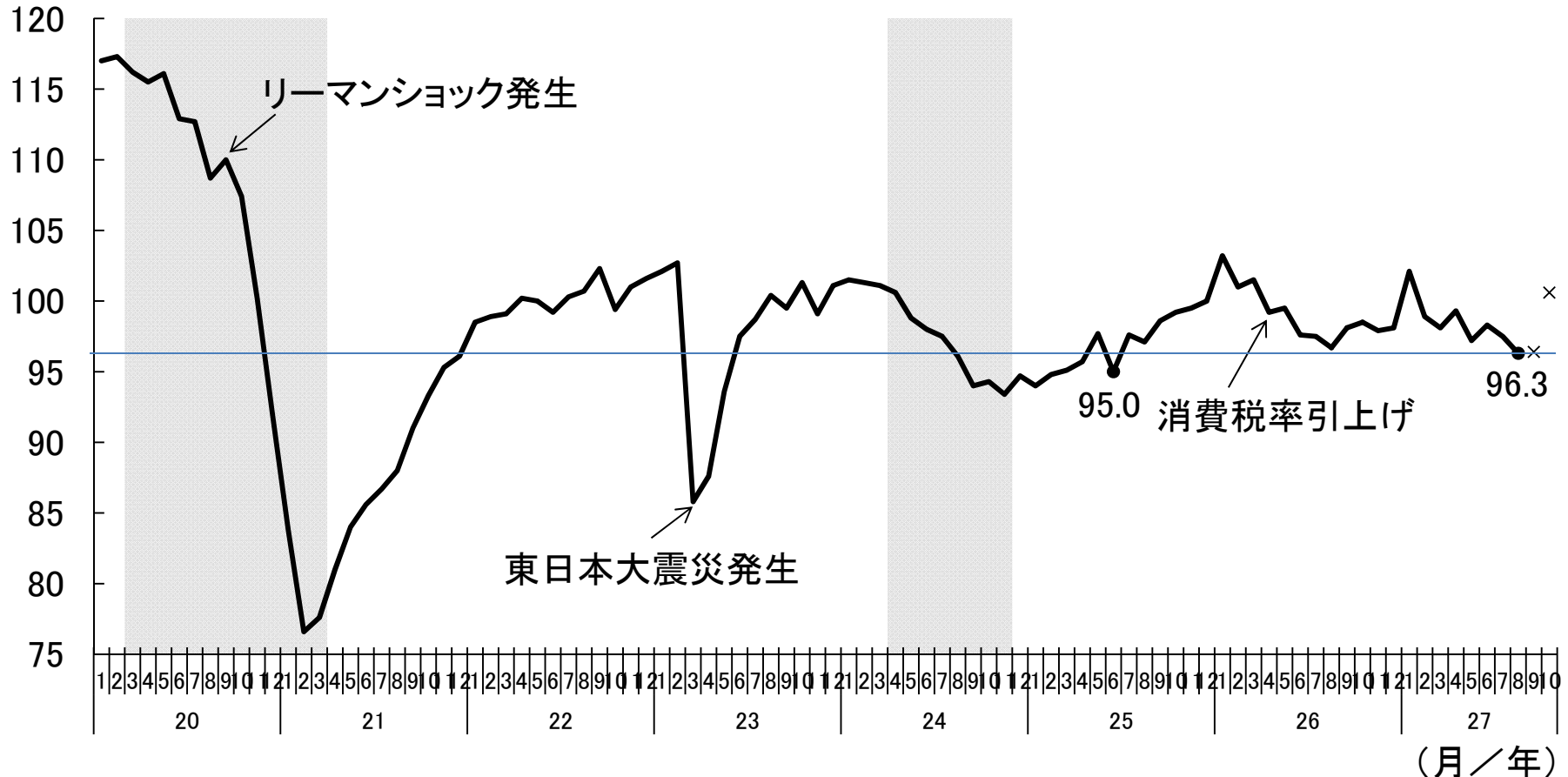
2) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

3) 【 】内は22年基準以外

鋳工業生産指数の動向

- 平成27年8月の生産指数は96.3(前月比▲1.2%)と2か月連続の低下。
- 平成25年6月の95.0以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. ×は「製造工業生産予測調査」における2か月の前月比の値を鋳工業生産指数にあてはめて計算した予測値。
3. シャドー部分は景気後退局面。

鉱工業生産を大きく動かした品目

業種別

		業種・品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	石油・石炭製品工業	3.7%	4.8%
	品目	石油製品	3.8%	4.9%
	2位の業種	繊維工業	1.0%	1.5%
	品目	その他の繊維製品 織物	2.1% 1.1%	0.6% 0.4%
	3位の業種	鉄鋼業	0.1%	0.3%
	品目	めっき鋼材	7.3%	1.7%
○ 鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.1%	▲ 38.2%
	品目	金属工作機械 土木建設機械	▲ 12.9% ▲ 9.7%	▲ 16.0% ▲ 15.5%
	2位の業種	輸送機械工業	▲ 1.2%	▲ 19.1%
	品目	トラック 乗用車	▲ 7.0% ▲ 1.1%	▲ 9.0% ▲ 6.4%
	3位の業種	電気機械工業	▲ 3.3%	▲ 18.4%
	品目	回転電気機械 電気計測器	▲ 6.6% ▲ 9.1%	▲ 5.7% ▲ 4.6%

寄与率： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い
全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ **業種別** **全体** 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	8.5%	12.9%
	2位	鉄道車両	112.0%	7.5%
	3位	生活関連産業用機械	13.8%	5.2%
○ 鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	金属工作機械	▲ 12.9%	▲ 16.0%
	2位	土木建設機械	▲ 9.7%	▲ 15.5%
	3位	風水力機械・油圧機器	▲ 9.6%	▲ 9.3%

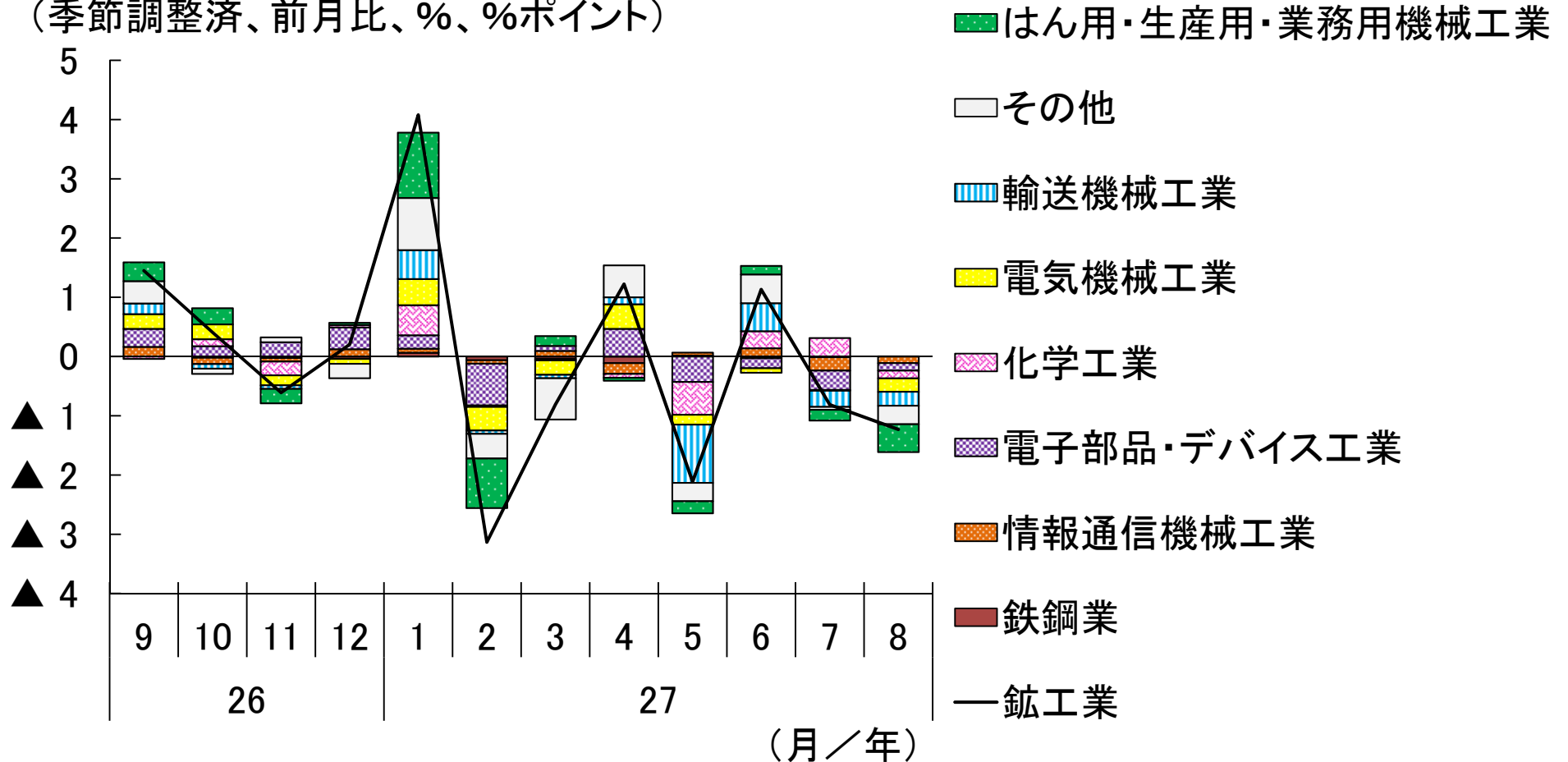
財別(=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久 消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.1%	23.4%
		ビール	11.1%	6.0%
		クレンジングクリーム	25.4%	3.7%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲ 0.2%	▲ 8.4%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	▲ 7.2%	▲ 8.1%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	▲ 6.0%	▲ 4.6%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 3.0%	▲ 14.1%
		橋りょう	▲ 24.7%	▲ 8.7%
		ガス風呂がま	▲ 9.2%	▲ 1.9%
耐久 消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 2.1%	▲ 16.9%
		普通乗用車	▲ 2.9%	▲ 11.0%
		ノート型パソコン	▲ 25.8%	▲ 3.7%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲ 3.9%	▲ 64.8%
		普通トラック	▲ 10.2%	▲ 9.5%
		ショベル系掘削機械	▲ 7.4%	▲ 8.1%

鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年8月の生産指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲1.2%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

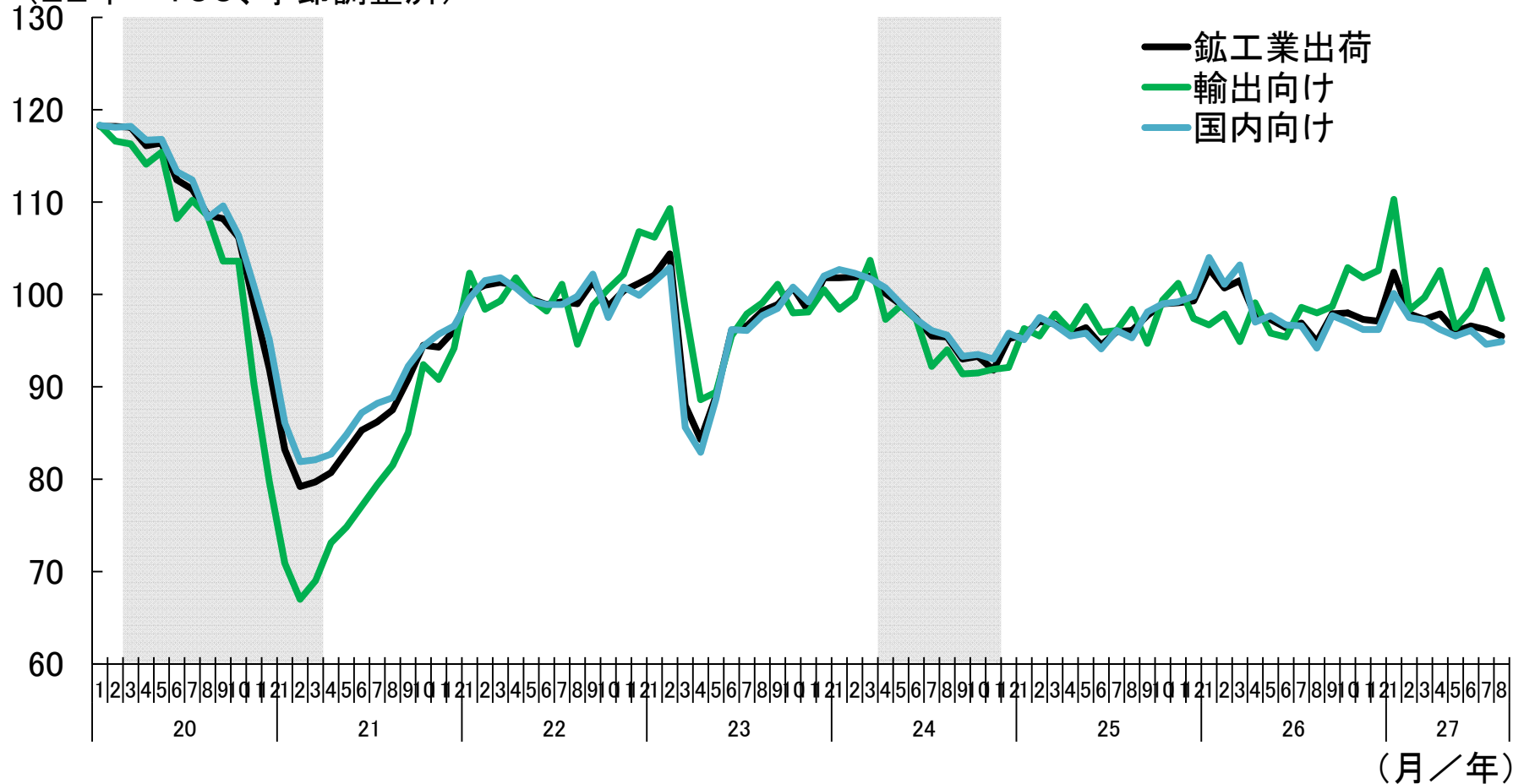


(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。

出荷内訳表の動向

- 平成27年8月の鋳工業出荷は95.5(前月比▲0.7%)と2か月連続の低下。
- 内訳をみると、国内向けは94.9(前月比+0.3%)と2か月ぶりの上昇となったものの、輸出向けは97.4(同▲5.1%)と3か月ぶりの低下となった。

(22年=100、季節調整済)

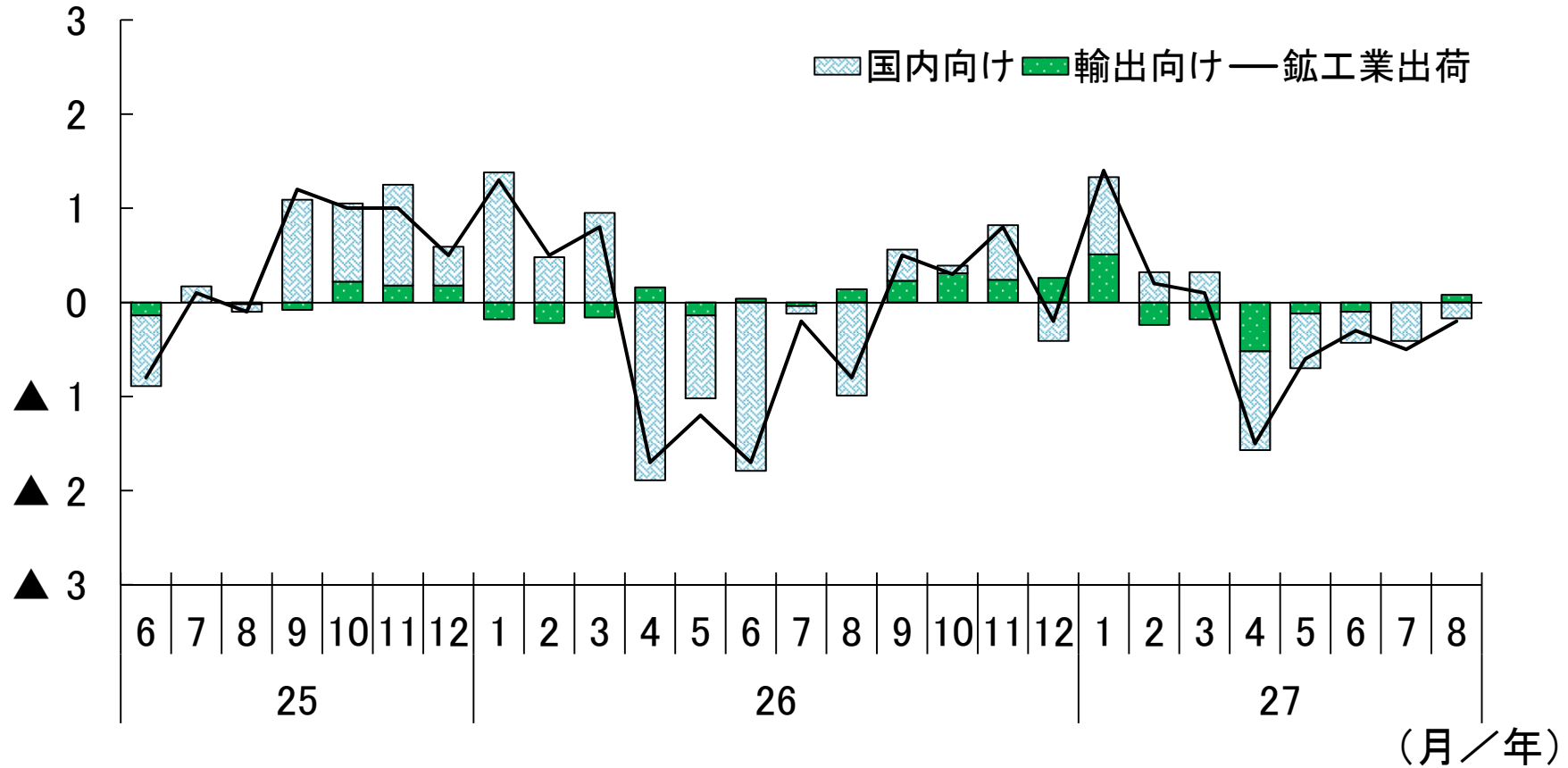


(注)シャド一部分は景気後退局面。

出荷内訳表(後方3か月移動平均・前月比寄与度)の動向

- 後方3か月移動平均で均してみると、鋳工業出荷の前月比低下幅は縮小。
国内向け出荷の低下寄与が縮小し、輸出向けは上昇に寄与。

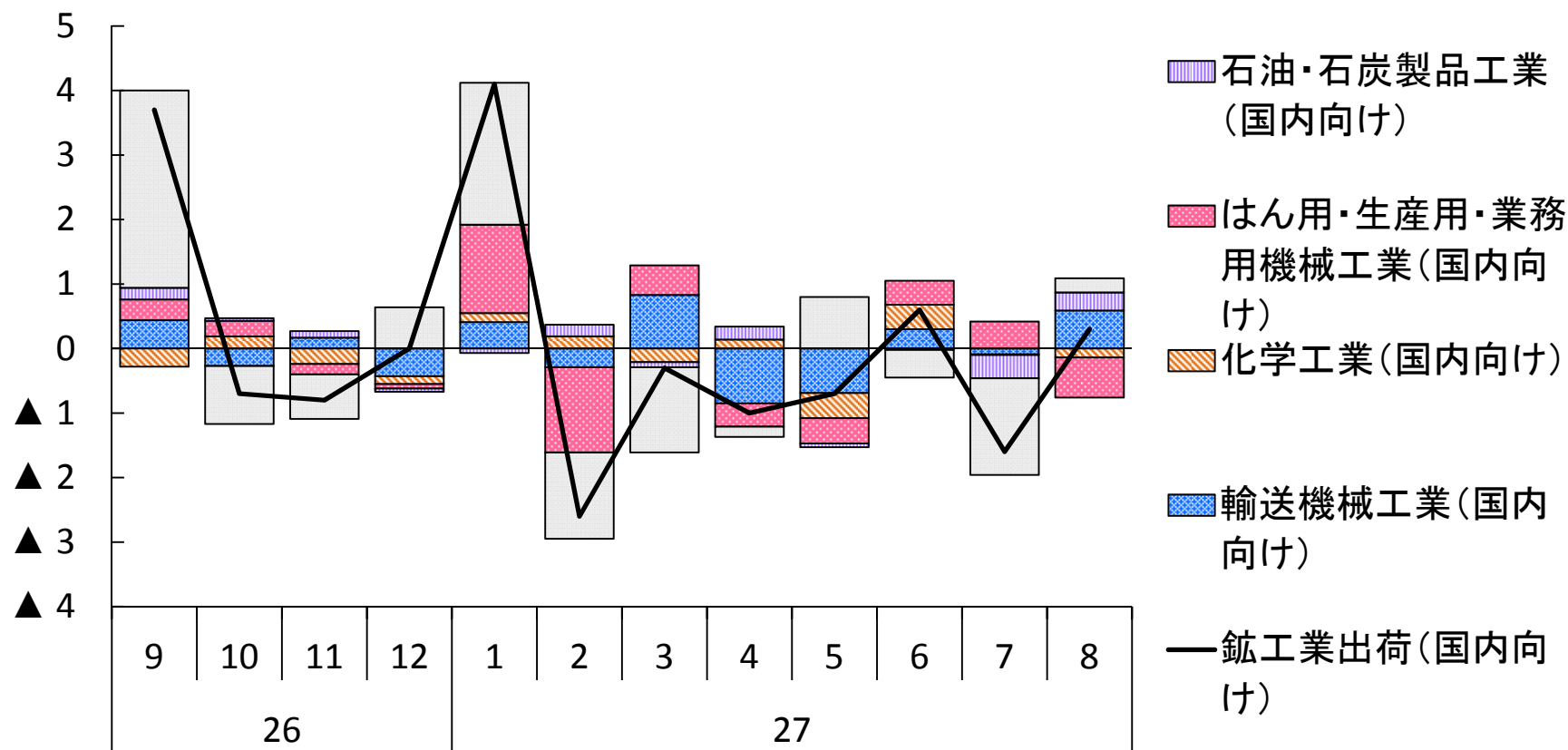
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



主要業種別・国内向け出荷の動向

- 平成27年8月の鉱工業・国内向け出荷を、主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業(前月比寄与度▲0.62%ポイント)等は低下したものの、輸送機械工業(同0.59%ポイント)等が上昇した。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

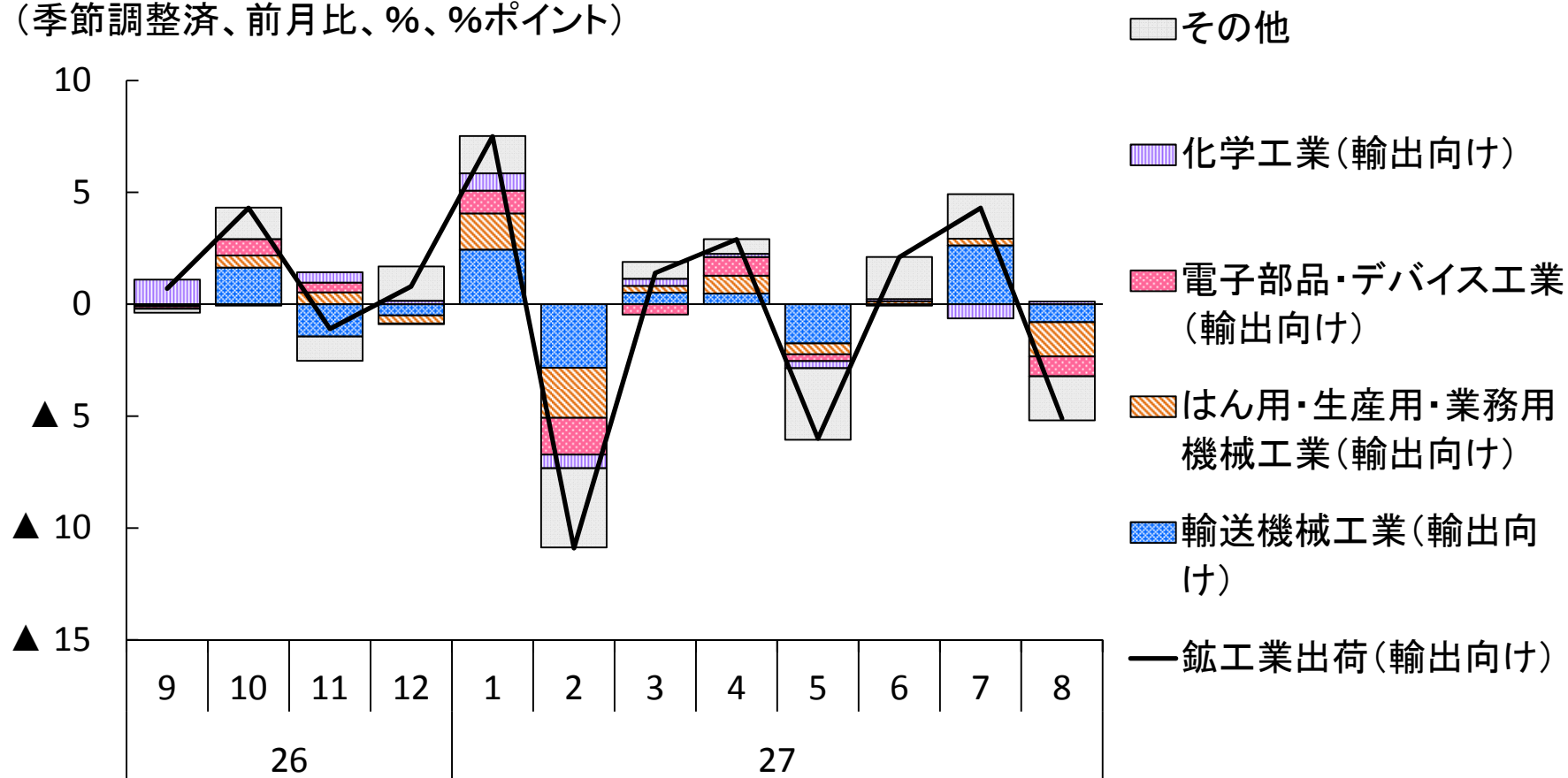


(注) 主要業種とは、鉱工業・国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)の4業種。

主要業種別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年8月の鉱工業・輸出向け出荷を、主要業種別にみると、化学工業が上昇(前月比寄与度0.12%ポイント)したものの、はん用・生産用・業務用機械工業(同▲1.53%ポイント)等が低下した。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

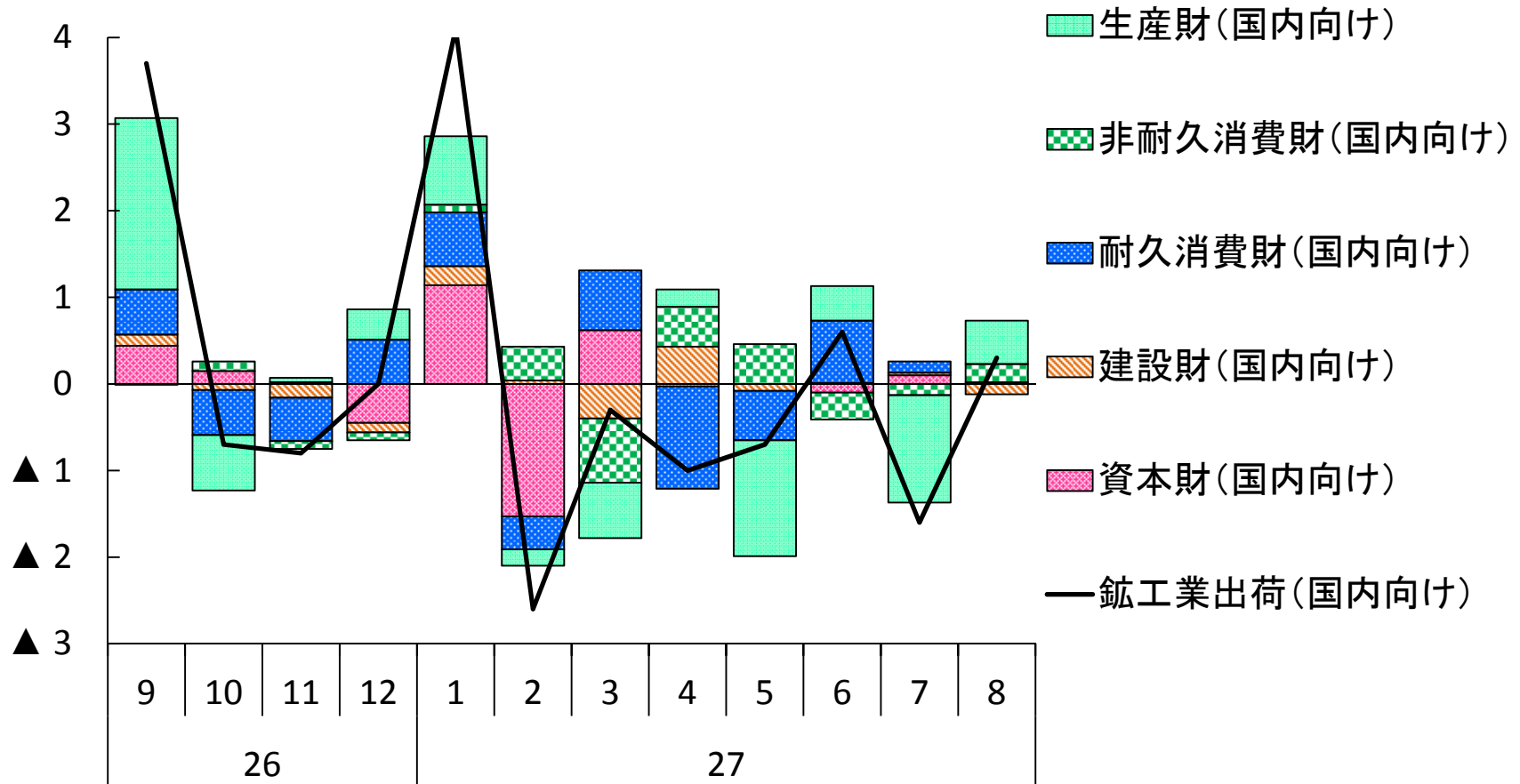


(注) 主要業種とは、鉱工業・輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

財別・国内向け出荷の動向

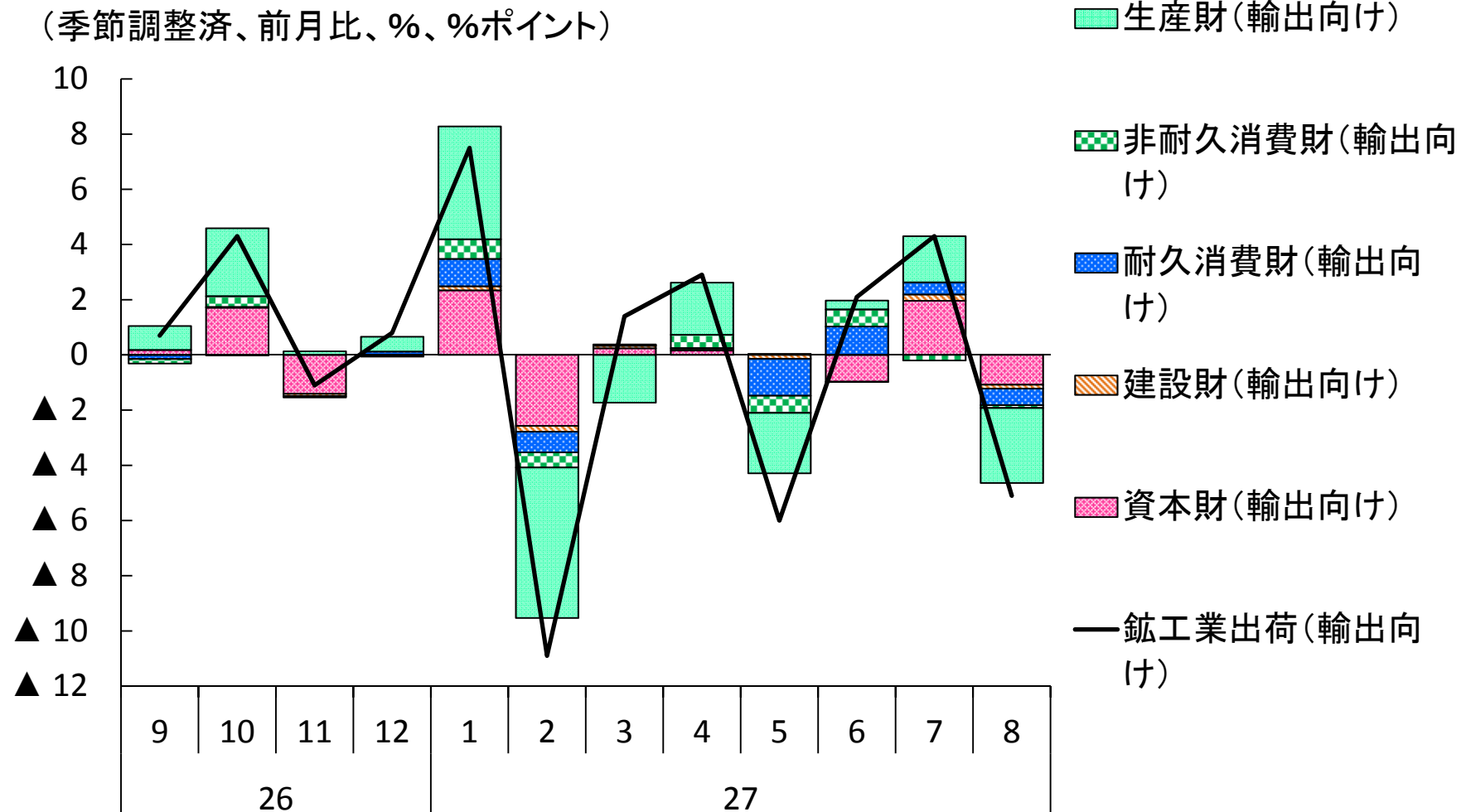
- 平成27年8月の鉱工業・国内向け出荷を、財別にみると、建設財が低下(前月比寄与度▲0.12%ポイント)したものの、生産財(同0.50%ポイント)等が上昇した。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



財別・輸出向け出荷の動向

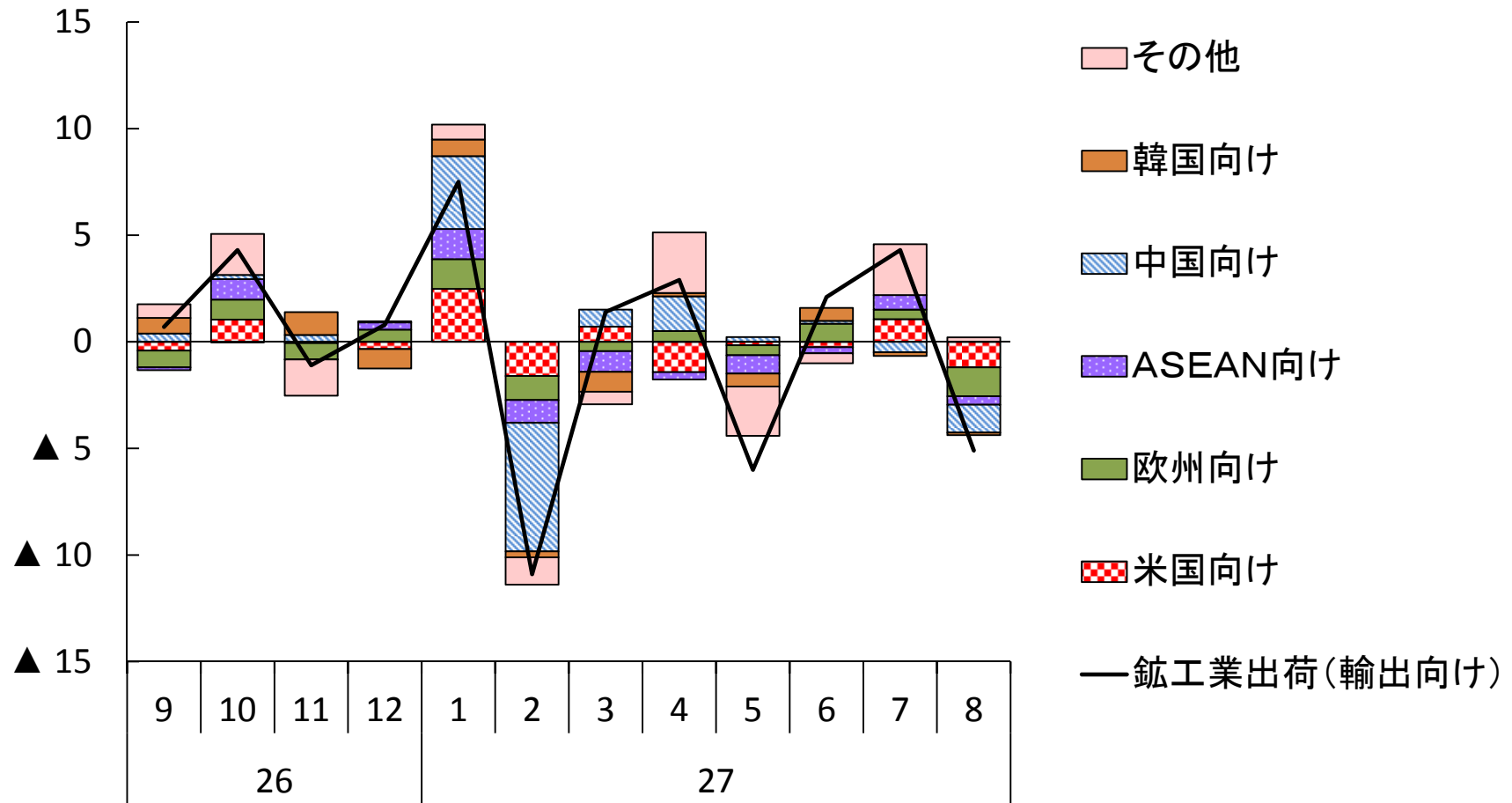
- 平成27年8月の鉱工業・輸出向け出荷を、財別にみると、生産財(前月比寄与度 ▲2.72%ポイント)をはじめ、全ての財で低下した。



地域別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年8月の鉱工業・輸出向け出荷を、地域別にみると、その他が上昇(前月比寄与度0.21%ポイント)したものの、欧州向け(同▲1.35%ポイント)等が低下した。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)試算値

輸出向け出荷の財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%p)
鉱工業	▲ 5.1	▲ 146.5
鉱工業用生産財	▲ 5.0	▲ 83.5
電子部品・デバイス工業	▲ 7.4	▲ 26.7
輸送機械工業	▲ 7.8	▲ 24.9
資本財	▲ 5.2	▲ 31.3
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 10.5	▲ 33.8
電気機械工業	▲ 4.9	▲ 3.6
耐久消費財	▲ 4.6	▲ 17.3
情報通信機械工業	▲ 20.5	▲ 5.2
輸送機械工業	▲ 1.1	▲ 3.3
建設財	▲ 7.2	▲ 4.1
プラスチック製品工業	▲ 17.0	▲ 3.5
電気機械工業	▲ 18.0	▲ 1.5
非耐久消費財	▲ 3.3	▲ 2.8
その他工業	▲ 20.1	▲ 2.8
化学工業	▲ 2.1	▲ 0.8
その他用生産財	6.7	6.5
石油・石炭製品工業	25.2	11.5
金属製品工業	16.5	0.7

(注) 試算値

寄与率

▲ 100%になる。当月が上昇なら100%、低下なら業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・

国内向け出荷の財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%p)
鉱工業	0.3	34.4
鉱工業用生産財	1.1	48.4
電子部品・デバイス工業	4.6	34.2
輸送機械工業	2.6	17.7
非耐久消費財	1.4	22.4
石油・石炭製品工業	5.6	14.9
その他工業	23.2	3.5
その他用生産財	2.5	14.7
石油・石炭製品工業	5.3	17.8
その他工業	1.3	1.4
資本財	0.1	1.9
輸送機械工業	12.2	64.5
その他工業	2.2	0.8
耐久消費財	0.0	0.0
電気機械工業	6.7	9.0
情報通信機械工業	2.3	4.0
建設財	▲ 1.8	▲ 13.1
金属製品工業	▲ 5.3	▲ 17.0
その他工業	▲ 2.3	▲ 2.4

寄与率

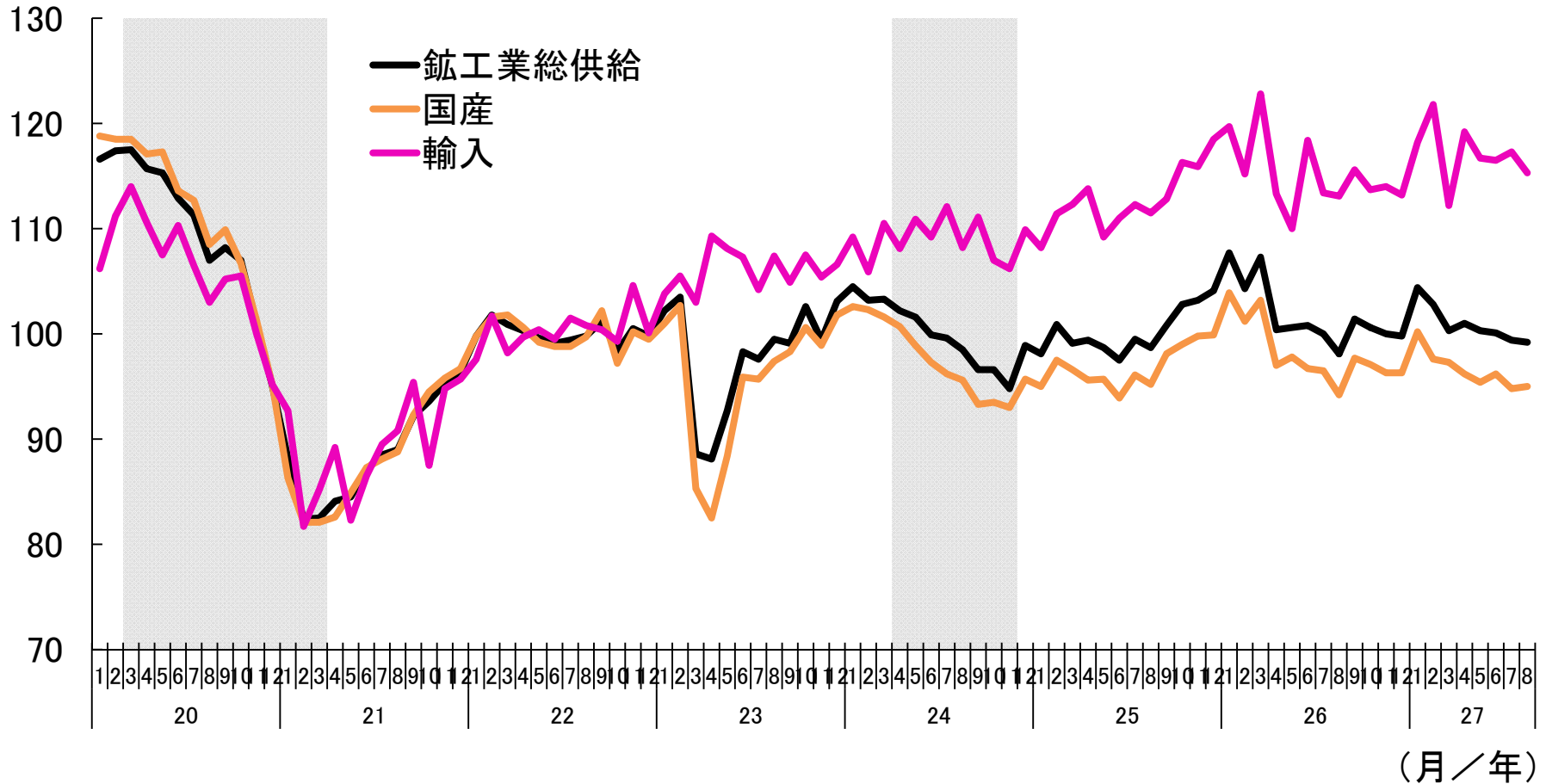
▲ 100%になる。
 出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

(注) 試算値

総供給表の動向

- 平成27年8月の鉱工業総供給は99.2(前月比▲0.2%)と4か月連続の低下。
- 内訳をみると、国産は95.0(前月比0.2%)と2か月ぶりの上昇となったものの、輸入は115.3(同▲1.7%)と2か月ぶりの低下となった。

(22年=100、季節調整済)

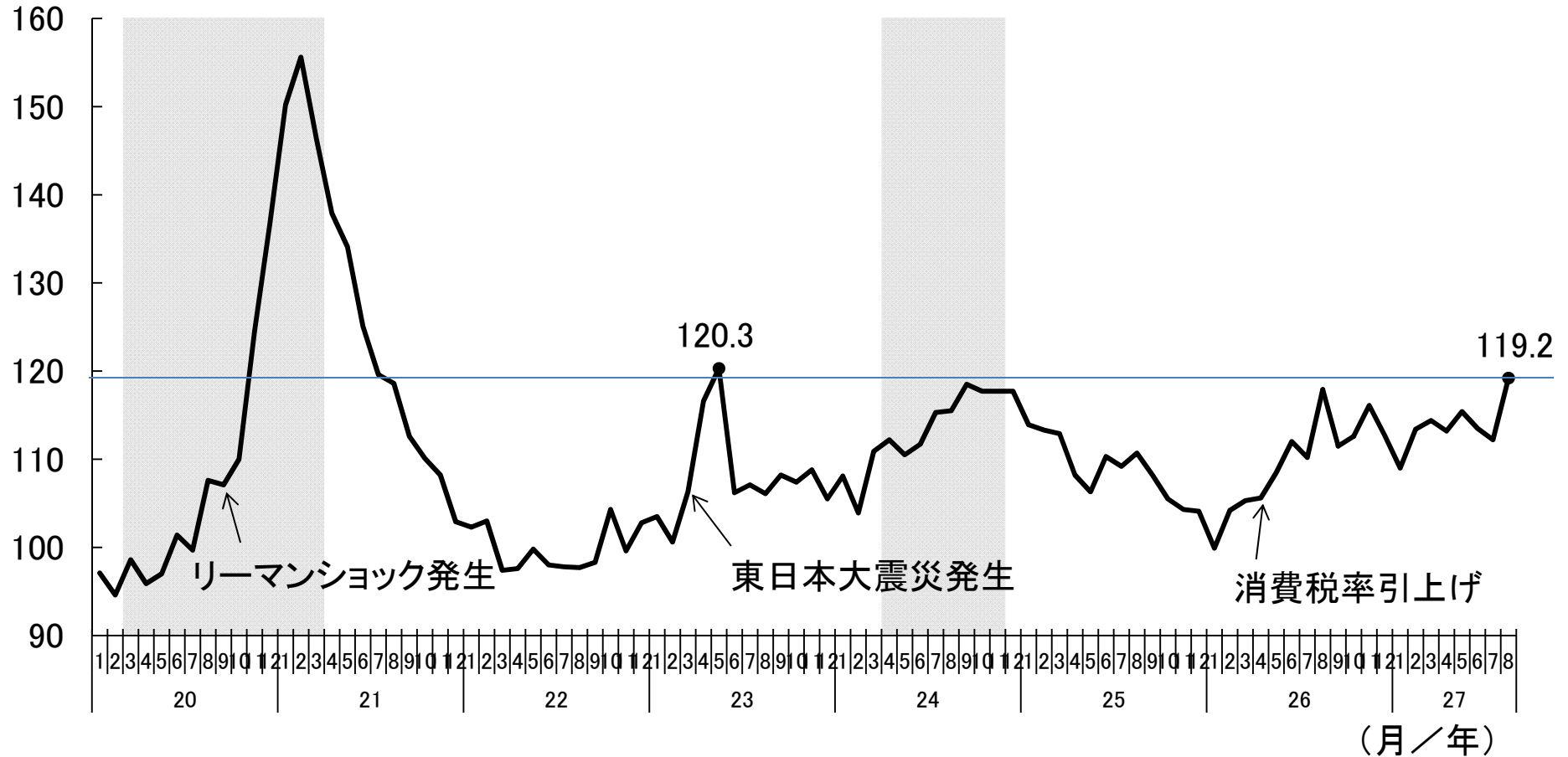


(注)シャドー部分は景気後退局面。

鋁工業在庫率指数の動向

- 平成27年8月の在庫率指数は119.2(前月比6.2%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成23年5月の120.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。

平成27年8月 稼働率・生産能力指数の状況

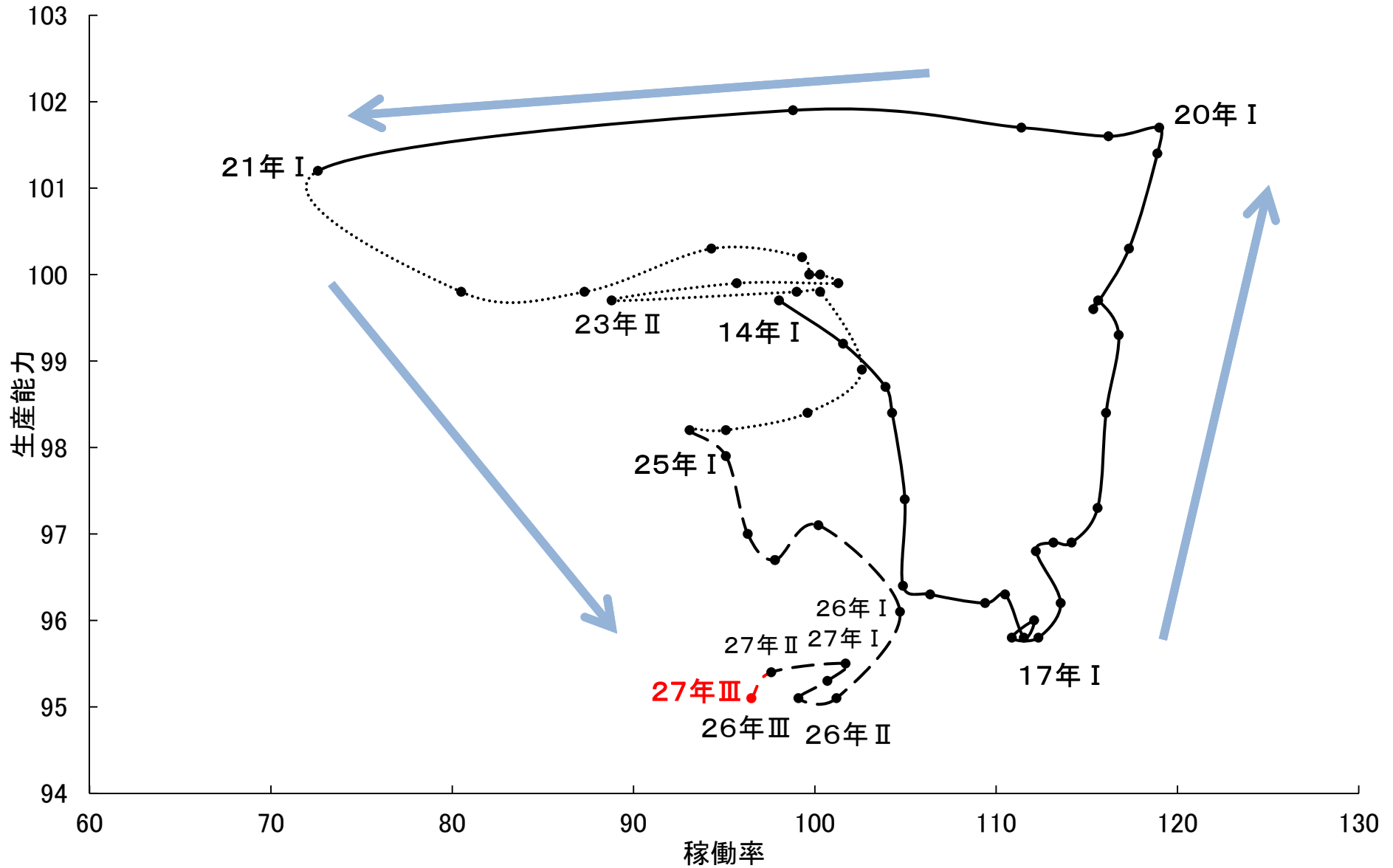
月次	稼働率	能力
季調済指数	96.0	95.1 (原指数)
前月比	▲ 0.9%	▲ 0.2%
指数水準	H25.6 96.0以来 (超) H25.3 95.4以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	H22年基準 ② H26.9 95.1以来 (超) H26.8 95.0以来 ①H26.7, 8 95.0 ②H26.6, 9, H27.8 95.1 ③H26.4, 10, 11 95.2
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.7～当月)	3か月連続▲ (H27.6～当月)
前月比幅	H27.5 ▲3.0%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	H26.6 ▲0.2%以来 (超) H26.4 ▲0.9%以来 ①H21.4 ▲1.2% ②H26.1 ▲1.1% ③H24.1, H26.4 ▲0.9%
前年同月比(原指数)	▲ 2.3%	0.1%
前年同月比の動き	8か月連続▲ (H27.1～当月) ・直近で8か月以上連続▲ 11か月連続▲ (H24.8～H25.6)	5か月連続+ (H27.4～当月) ・直近で5か月以上連続+ 44か月連続+【H17.5～H20.12】
前年同月比幅	H27.5 ▲6.8%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H27.7 0.3%以来 I H22.8 0.4% II H22.7, H27.6, 7 0.3% III H22.6, 9, H27.4, 5 0.2%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

3) 【 】内は22年基準以外

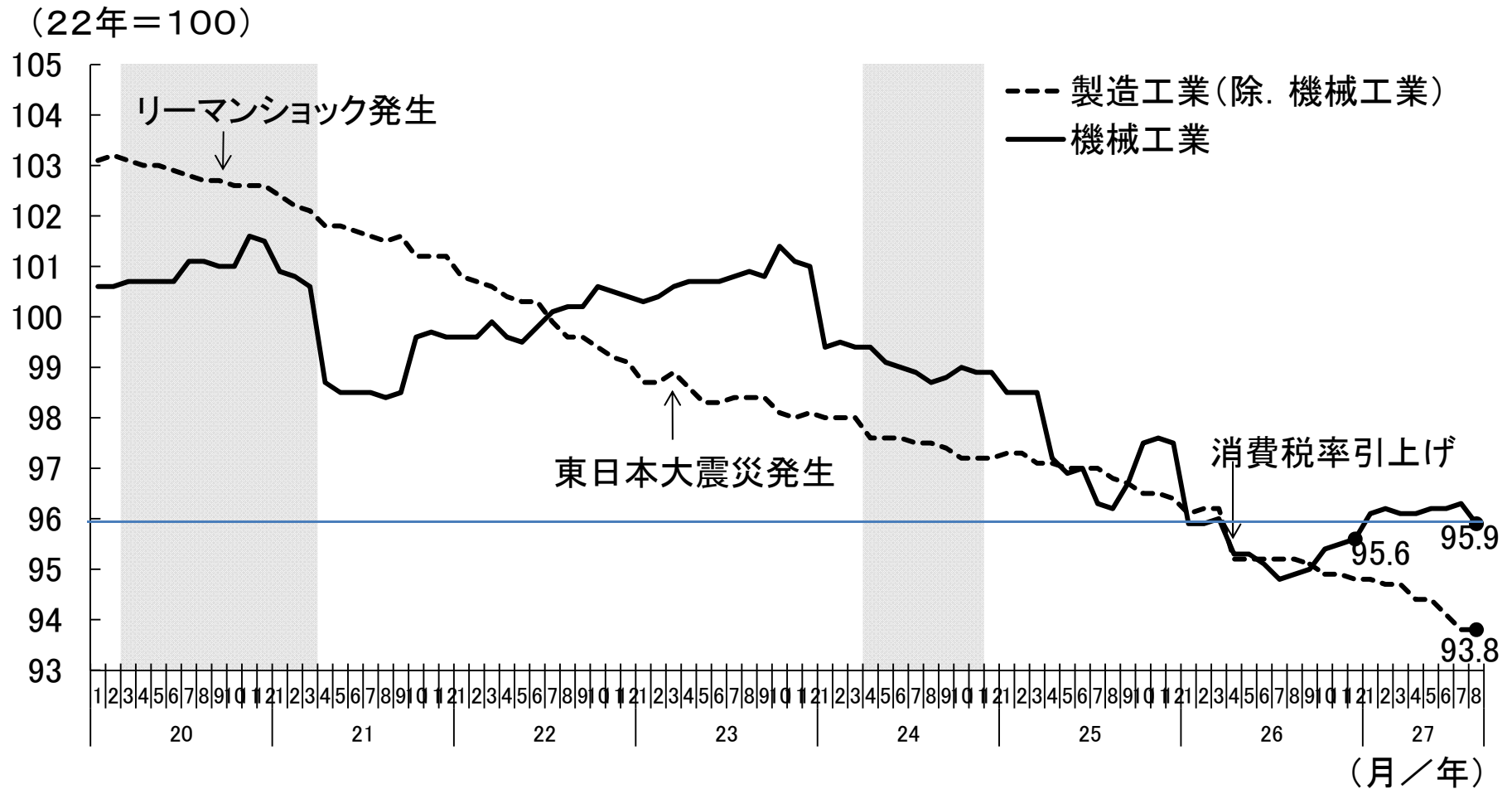
生産能力－稼働率の循環関係(平成22年=100)



(注)27年Ⅲ期の稼働率指数は、平成27年7、8月の平均値。生産能力指数は平成27年8月末。

製造工業(除.機械工業)と機械工業の生産能力指数の動向

- 平成27年8月の機械工業は95.9(前月比▲0.4%)と5か月ぶりの低下。
平成26年12月の95.6以来の指数水準。
- 一方、製造工業(除.機械工業)は、93.8(前月比0.0%)と3か月ぶりの横ばい。

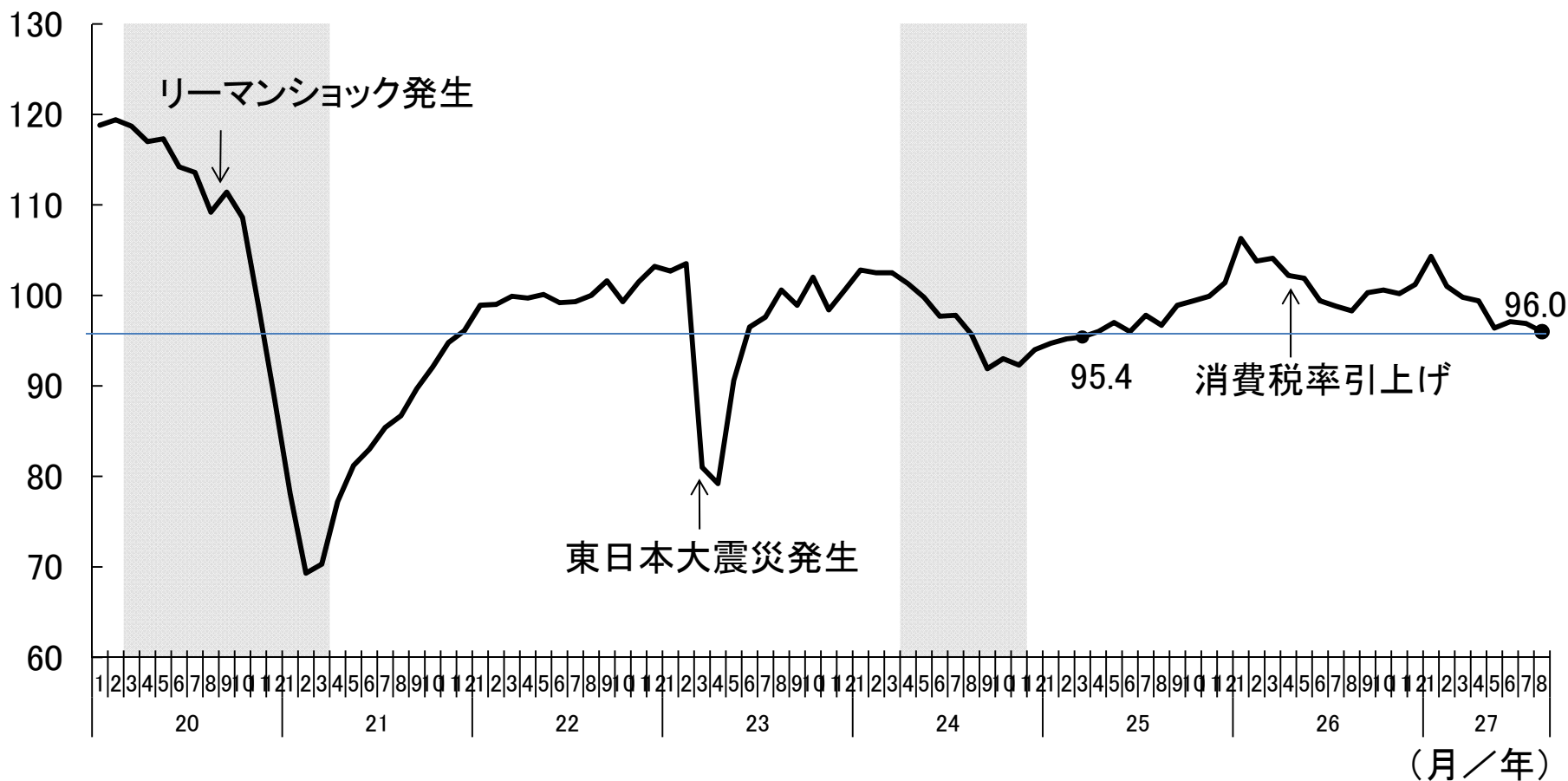


(注)シャド一部分は景気後退局面。

製造工業稼働率指数の動向

- 平成27年8月の稼働率指数は96.0(前月比▲0.9%)と2か月連続の低下。
- 平成25年3月の95.4以来の指数水準。

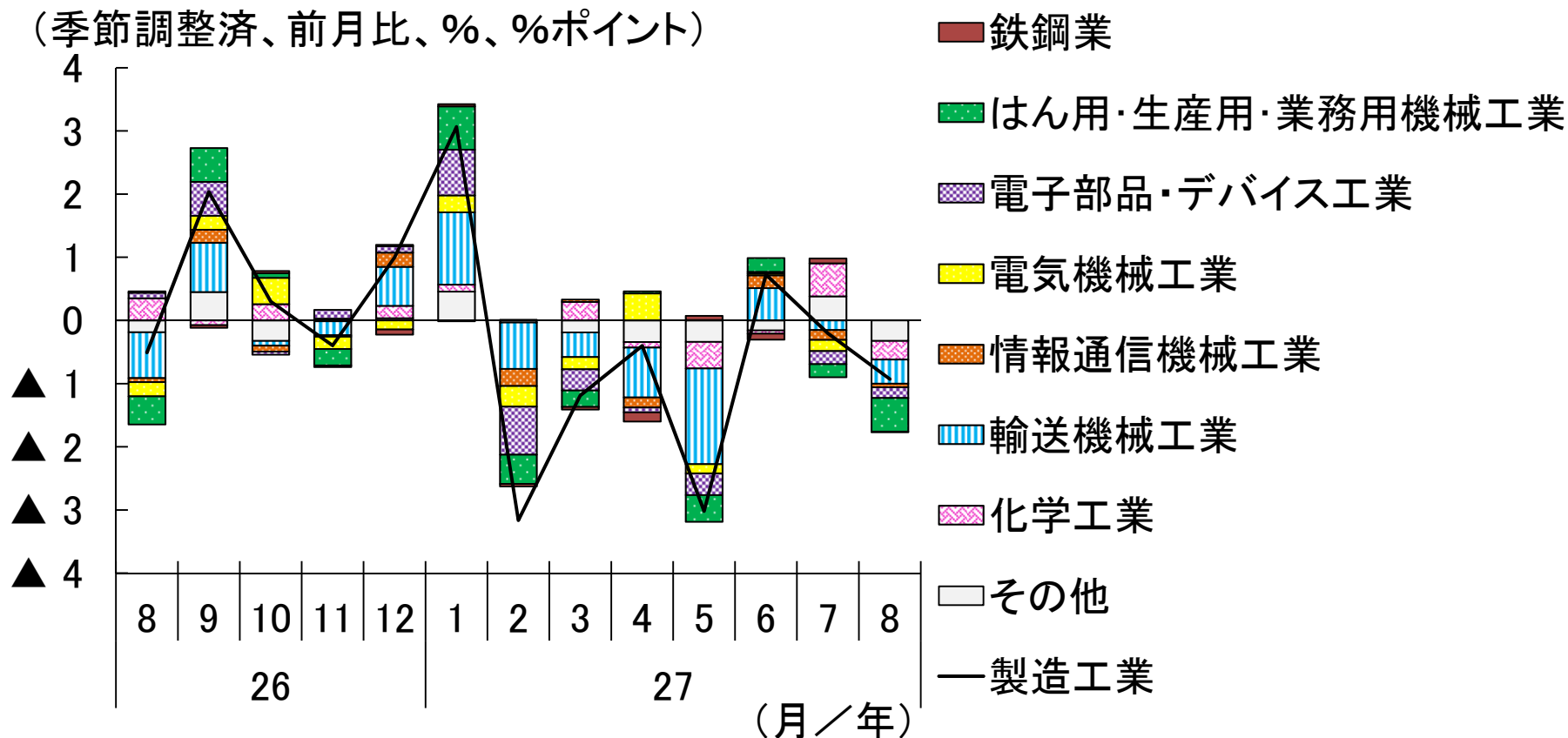
(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 製造工業稼働率指数とは、月々の製造工業の稼働率を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
 2. シャドー部分は景気後退局面。

稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年8月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業や輸送機械工業などが低下したため、前月比▲0.9%の低下。



(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

統合指数(試算値)に対する産業別寄与度分解

- 平成27年8月の統合指数(前月比、季節調整済)の内訳をみると、第3次産業活動は前月から上昇(前月比寄与度0.08%ポイント)したものの、鉱工業生産が低下(同▲0.26%ポイント)したため、前月比▲0.1%の低下となった。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

